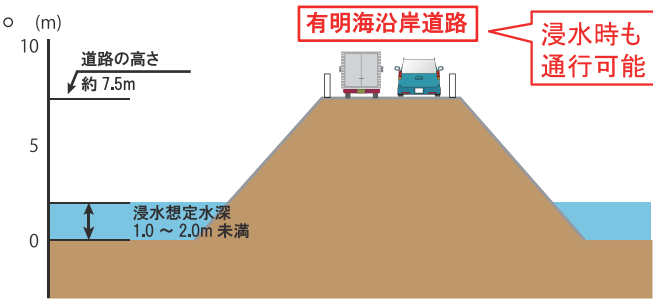


災害時の代替路

豪雨等の災害時に代替路として機能

近年、豪雨等による浸水被害が増加しており、令和2年7月豪雨時には大牟田市で大規模な浸水被害が発生しました。その際主要な幹線道路は冠水しましたが、道路高が高い有明海沿岸道路は浸水の影響を受けず、緊急車両や物資輸送車両の通行が可能な状況でした。



令和2年7月豪雨 国道389号冠水状況 (大牟田市)

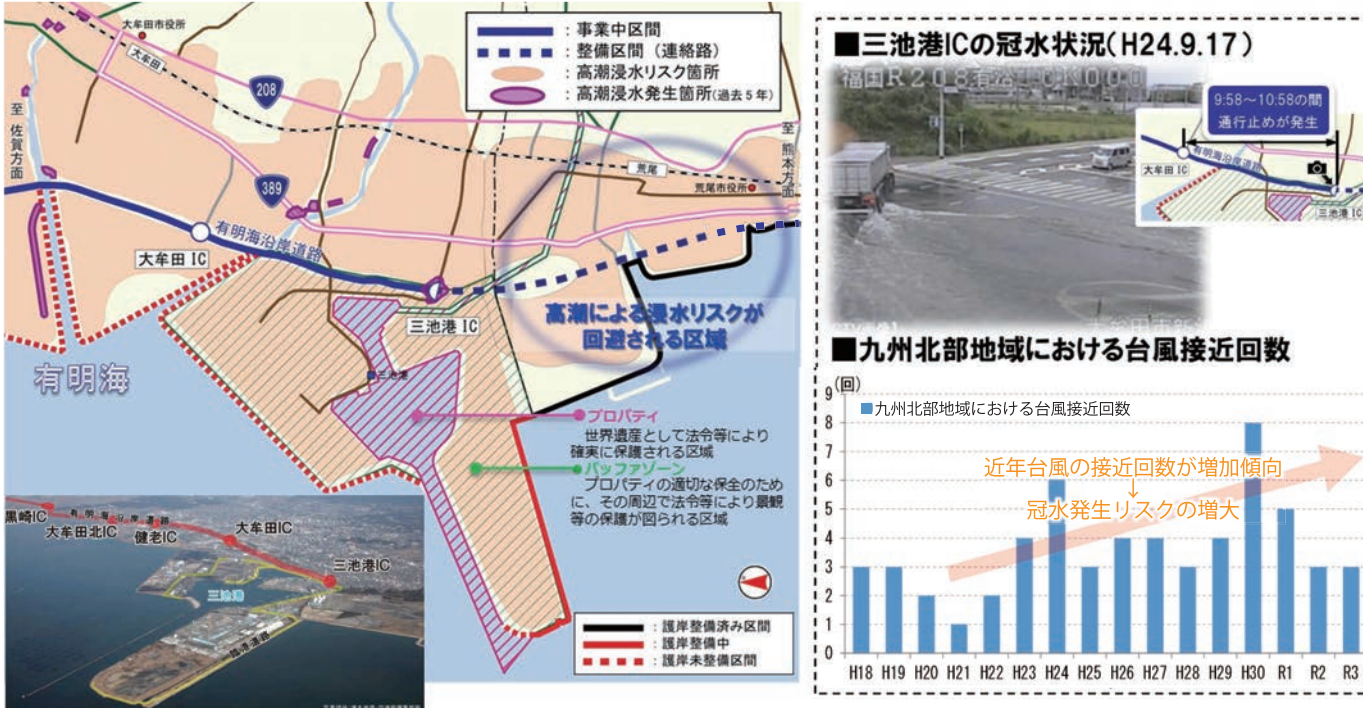


令和2年7月豪雨 国道208号冠水状況 (大牟田市)

三池港ICの災害発生時の機能確保

三池港IC入口交差点等は地盤高が低く台風時の高潮による冠水が発生しています。さらに、近年台風の接近回数は増加しており、冠水発生リスクは今後増大していく傾向にあります。

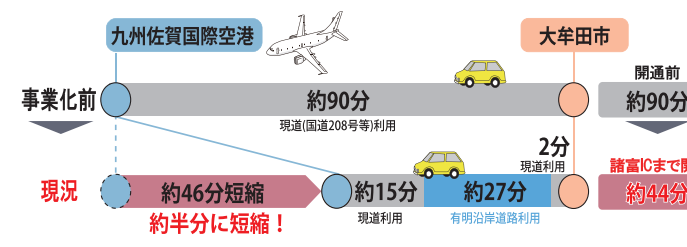
そこで三池港ICの形状変更を行い、災害発生時の機能を確実に確保します。



利便性の向上

九州佐賀国際空港までの所要時間短縮

九州佐賀国際空港と大牟田市間の所要時間は有明海沿岸道路の開通前では約90分でした。令和4年11月に大野島IC～諸富ICが開通し、所要時間は約半分 (約44分) に短縮し、今後の延伸により更なる時間短縮が期待されます。



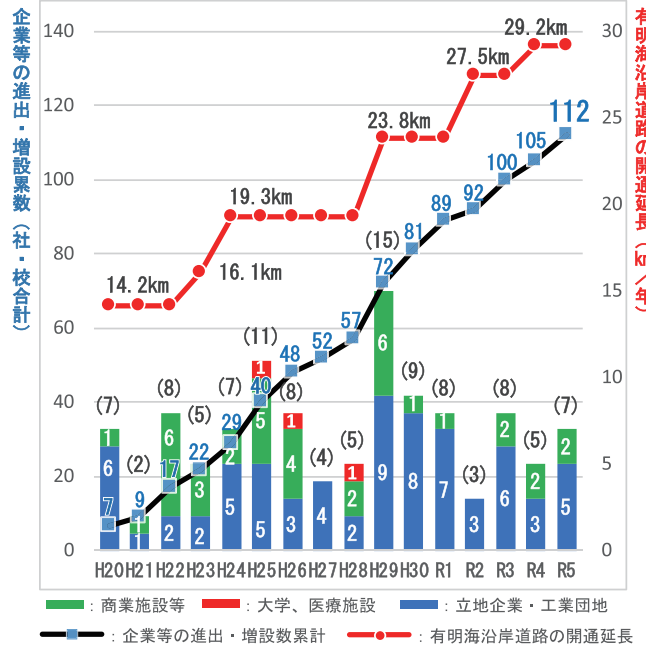
※走行速度の考え方
・事業化前はH7道路交通センサスの混雑時平均速度 (km/h)
・現状はH7道路交通センサスの混雑時平均速度 (km/h)

▲大牟田市～九州佐賀国際空港の所要時間の推移

沿線開発が加速

企業、商業施設等が沿線地域に進出

有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセスも良く、企業、商業施設、大学等計112社が新たに進出・増設しています。



広域的な観光活動の支援

魅力ある観光施設を結ぶ

有明海沿岸地域には、世界文化遺産に登録された明治日本の産業革命遺産群を始め、ムサール条約登録の「東よか干潟」など豊かな自然と文化に溢れる観光資源が点在しており、観光客数は増加傾向にあります。



有明海沿岸道路をつなぐ代表的な橋梁

有明海沿岸道路では多彩な姿を見せる橋梁や構造物が建設され、地域のランドマークとなっています。



道路の維持管理

道路構造の保全及び道路の安全性と交通の円滑化を図るため、次のような道路維持管理を実施しています。

- 道路巡回・・・道路の異状や障害物を早期に発見し、道路の保全を行います。
- 除草・・・雑草繁殖による通行障害や視認性を確保するため実施し、通行障害を防ぎます。
- 伐採・・・通行の妨けとなる樹木や枝を伐採し、通行障害などを防ぎます。
- 道路凍結対策・・・凍結防止剤 (塩化ナトリウム・塩化カルシウム) を散布し、路面凍結によるスリップ事故を防ぎます。積雪の場合は、除雪作業を行います。
- 舗装修繕・・・痛んだ舗装を修繕し、車の安全な走行を確保。
- 構造物点検・・・橋の異常を早期に発見するための定期点検。
- 構造物補修・・・橋や横断ボックスなどの道路構造物を補修し、健全性を確保。
- 設備点検・・・監視カメラや気象観測装置などに通信障害が出ないよう機器を点検。



有明海沿岸道路の概要

有明海沿岸道路は熊本県熊本市から佐賀県鹿島市に至る高規格道路で、現在39.2km (国整備29.2km、佐賀県整備10km) が開通しています。将来的には主要な都市や重要な空港・港湾である九州佐賀国際空港及び三池港を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって九州の広域道路ネットワーク計画の一翼を担う高規格道路として機能することとなります。

◇広域道路ネットワーク計画

広域道路ネットワーク計画は、現状の交通課題の解消を図る観点と新たな国土形成の観点の「両輪」を見据え、高規格幹線道路やこれを補完する広域的な道路ネットワークを中心とした必要な路線の強化や絞り込み等を行い、平時・災害時および物流・人流の観点を踏まえた具体的なネットワークを計画したものです。

広域道路ネットワーク計画図



事業の経緯

年 度	有 明 海 沿 岸 道 路 事 業				
	大川佐賀道路L=9.0km	大川バイパスL=10.0km	高田大和(バイパス)L=8.9km	大牟田高田道路L=8.6km	荒尾道路L=2.2km
昭和63年度		事業化	事業化(用地着手)		
平成5年度		用地着手 整備区間に指定 (3km)	整備区間に指定		
平成7年度		整備区間に指定(7km)	都市計画決定	整備区間に指定	
平成9年度		都市計画決定		都市計画決定	
平成10年度			都市計画決定		
平成11年度	整備区間に指定	事業化(延伸分)	工事着手	事業化(用地着手)	
平成12年度	事業化		工事着手	工事着手	
平成13年度		工事着手			
平成14年度			部分開通(自専部L=12.2km、一般部L=9.6km)		
平成19年度	都市計画決定 環境影響評価書の公告掲載	徳益交差点～柳川西IC L=3.5km(一般部) 柳川西IC～大川東IC L=2.4km(自専部2/4) 大川東IC～大川中央IC L=1.9km(一般部)	黒崎IC～高田IC L=3.1km(自専部2/4) 大和南IC～徳益交差点 L=3.3km(一般部)	大牟田IC～黒崎IC L=6.7km(自専部2/4)	
平成20年度	路線測量・地質調査に着手		高田IC～大和南IC L=2.0km(自専部2/4)	開通	
平成23年度				三池港IC～大牟田IC L=1.9km(自専部2/4)	開通
平成24年度	用地買収着手		大和南IC～徳益IC L=3.2km(自専部2/4)	開通	
平成26年度				三池港IC形状変更の事業編入	
平成27年度	工事着手				都市計画決定
平成29年度		徳益IC～柳川西IC L=4.5km(自専部2/4) 開通			
令和2年度		大川東IC～大野島IC L=3.7km(自専部2/4) 開通			
令和3年度				三池港IC連絡路 工事着手	
令和4年度	大野島IC～諸富IC L=1.7km(自専部2/4)開通				
令和5年度					事業着手

道路規格等

大川佐賀道路 高田大/バイパス	大川バイパス 大牟田高田道路
道路規格	第1種3級
設計速度	V=80km/h
車線数	4車線
道路幅員	20.5m

荒尾道路	
道 路 規 格	第1種 3級
設 計 速 度	V=80km/h
車 線 数	2車線
道 路 幅 員	12.0m

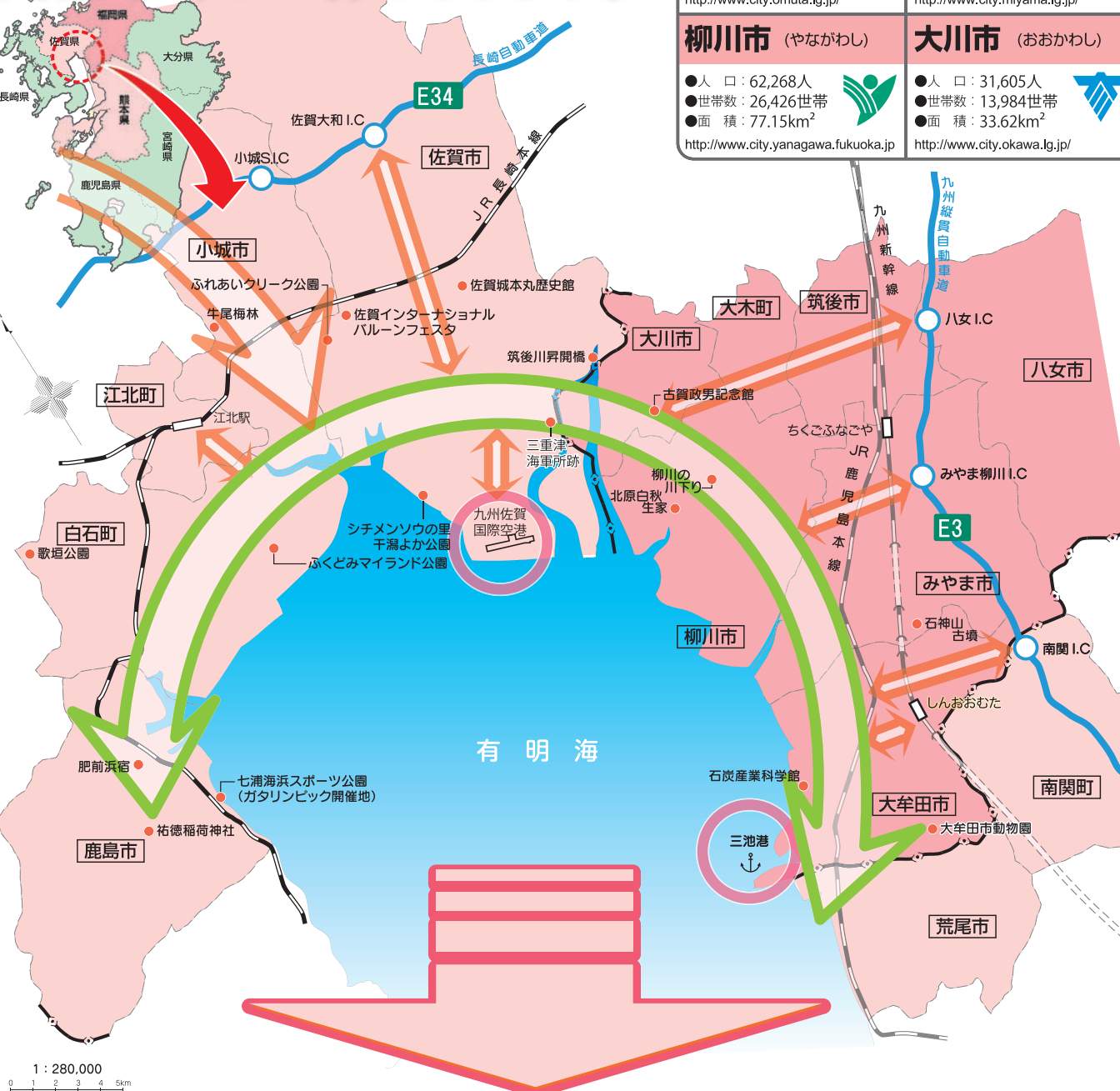
事務所のご案内



有明海沿岸国道事務所
〒832-0824
柳川市三橋町藤吉495
TEL (0944) 74-2930
FAX (0944) 74-2932
E-mail: qsr-arien@k.mlit.go.jp



有明海沿岸道路により 周辺市町が一体となります。



筑後市 (ちくごし)	八女市 (やめし)	大木町 (おおきまち)	荒尾市 (あらし)	南関町 (なんかんまち)
●人口: 49,259人 ●世帯数: 20,980世帯 ●面積: 41.78km ² http://www.city.chikugo.jp	●人口: 60,155人 ●世帯数: 25,909世帯 ●面積: 482.44km ² http://www.city.yame.fukuoka.jp	●人口: 13,707人 ●世帯数: 5,241世帯 ●面積: 18.44km ² http://www.town.ooki.jp	●人口: 49,617人 ●世帯数: 24,025世帯 ●面積: 57.37km ² http://www.city.yamaga.fukuoka.jp	●人口: 8,836人 ●世帯数: 4,063世帯 ●面積: 68.92km ² http://www.town.nankanku.saga.jp
佐賀市 (さがし)	小城市 (こせし)	白石町 (しろしちやう)	鹿島市 (かしまし)	江北町 (こうほくまち)
●人口: 227,870人 ●世帯数: 103,953世帯 ●面積: 431.62km ² https://www.city.saga.jp	●人口: 44,219人 ●世帯数: 17,421世帯 ●面積: 95.56km ² http://www.city.saga.fukuoka.jp	●人口: 20,947人 ●世帯数: 7,338世帯 ●面積: 24.86km ² http://www.town.shirakiku.saga.jp	●人口: 26,799人 ●世帯数: 12,421世帯 ●面積: 11.12km ² http://www.city.kashima.saga.jp	●人口: 9,580人 ●世帯数: 3,675世帯 ●面積: 24.86km ² http://www.city.kashima.saga.jp

※人口、世帯数は、各市区町村ホームページより(令和6年1月現在) ※面積は「令和5年度国土利用計画」による(国土利用計画 令和5年10月1日現在)



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地図図25000を複製したものである。(承認番号 平30情復、第1592号)